



あめみや まさひで	
雨宮 正英	
区 分	バス事業者関係
居 住 地	山梨県
所属・役職	山梨交通株式会社 代表取締役社長

相談方法・連絡先

相談方法	メール
相談可能日時	メールにて随時可
メールアドレス	norai@yamanashikotsu.co.jp

取組の概要

・バス交通の利便性向上と活性化に向けて、インターネットを利用して路線やバス停通過時刻の検索ができるバスマップに、リアルタイムの運行情報やバス停周辺の観光情報を組み合わせた「やまなしバスコンシェルジュ」システムを産学連携により開発し、実用化する等、他業種、大学、行政等と連携しながら、創意工夫による取組を実施した。

本人の言葉

これまでICカードでの運賃決済やバイオ燃料バスの運行を住民＋産官学の連携で実現し、将来のバス利用者となる小学生から大学生までの啓蒙、市街地活性化、都市内の高齢化対策など、常に地域の皆様が関心を持つ問題と公共交通を多面的に結びつけることで、バスへの関心を高め地方バス活性化に繋がりたいと考えています。

略歴等

- 昭和58年4月 山梨交通株式会社入社
- 平成 6年1月 乗合自動車課長
- 平成12年7月 バス事業部長
- 平成16年6月 取締役バス事業部長
- 平成17年6月 常務取締役バス事業担当
- 平成29年6月 代表取締役社長

取組の内容、先進性・独創性

- 山梨大学と連携し学生のバス利用実験を行うなど、産学連携に意欲的に取組む。この産学連携の中で、インターネット上で路線検索やバス停通過時刻検索が容易なバスマップを作成し、これをベースにリアルタイムでのバスの運行情報やバス停周辺の観光情報を合わせたバスコンシェルジュシステム「やまなしバスコンシェルジュ」を完成させ、実用化した。
- 高齢化への対応として、甲府市による都市型デマンドバス交通の実証実験の実施に際し、同システムを実験する東京大学との調整を図る。

知識・経験・熱意、地域の取組みでの存在感

- 山梨県バス協会理事、バス活性化委員会委員等の立場から、地域バス事業の先駆的取り組み等をとおして山梨県バス協会会員に模範を示し高く評価されている。
- 他業種、大学、行政等と連携し、常にバス交通の活性化に向け、創意工夫を重ねており、「やまなしバスコンシェルジュ」の構築においても、関係者間の調整、行政等からの支援獲得に、中心となって尽力した。
- 入社以来バス部門一筋の経験と人脈を生かし、意欲的に提言やアイデアを発信している。

地域の活性化等への貢献度

- 甲府市中心部の商業空洞化に腐心し、平成9年から甲府商工会議所と商店街活性化に向けて買い物シャトルバスを運行。土・日曜日に無償で運行し、一日平均400名程度が利用している。
- 高速バスの充実をはかり既存高速バスに加え、平成10年から10路線を開拓、県民の足として定着しつつある。
利用人員 平成10年→平成20年比 197%

先達としての活動

- 山梨県バス協会理事、その他行政機関の委員として、山梨県内の公共交通及び地域の活性化について、深く精通し、シンポジウムのパネリストや新聞、雑誌等への寄稿を行う等、精力的に提言を行っている。
- 運輸事業の責任者として、その陣頭に立ってバス事業の健全なる育成と発展のため、日夜を問わず精励するなど、その真摯な努力はきわめて高く評価されている。

やまなしバスコンシェルジュ

山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」とは、山梨県を訪れる観光客をサポートする「富士の国やまなし観光コンシェルジュシステム事業」の一環として、山梨県・山梨大学・山梨県バス協会により開発されたバス総合案内システムで、「富士の国やまなし観光ネット」と連携し、山梨県全域の乗合バス情報と観光情報を携帯電話、パソコン等で確認することができるシステムです。

パソコン版 <http://busmaps.jp/yamanashi/>
 携帯電話版 <http://m.busmaps.jp/>

停留所の位置情報、時刻表情報に加え、山梨交通118台、富士急行118台の計236台の路線バスにGPS端末を設置し、自分が乗りたいバスが何時何分どのバス停を通過するかといった運行・遅延に関するリアルタイム情報が確認できます。また、携帯電話のGPSを利用した最寄の停留所検索、バス停周辺の観光情報を検索することができます。

やまなしバスコンシェルジュ

山梨県バス総合案内システム

やまなしバスコンシェルジュってどんな事ができるの？

- 1. バス停を探す**
 今いる場所から乗りたいGPSで最寄のバス停を検索。また目的地、住所、地図上からも検索できます。
- 2. バス路線を探す**
 地図上にバス運行経路を表示します。
- 3. 時刻表を調べる**
 各バス停の通過時刻を表示します。
- 4. バスの位置を探す**
 GPSを使い、利用するバスが今どこにいるかが分かります。
- 5. バス乗換えを調べる**
 出発地、目的地、出発(到着)時刻を設定する事で目的地までの最適なルートを検索します。
- 6. 最寄の観光情報を探す**
 各バス停付近の観光情報(富士の国やまなしネット)にリンク。

やまなしバスコンシェルジュってなに？
 バス停の位置や通過時刻表、バスの運行経路や現在の走行位置、さらには観光情報等様々な情報を携帯電話・パソコンなどで提供するシステムです。

携帯電話からアクセス

- 1. バスの運行(接近)情報を調べたい**
 携帯TOP画面
 1. 検索
 2. 時刻表
- 2. 時刻表を調べたい**
 時刻表を見る
 ●調べたいバス停名を入力(ひらがな・一部でも可)
 ●「切替」で各時間別の時刻表も表示可能
- 3. 時刻表を調べたい**
 時刻表を見る
 ●調べたいバス停名を入力(ひらがな・一部でも可)
 ●「切替」で各時間別の時刻表も表示可能
- 4. バスの位置を探す**
 現在地から検索
 ●検索する場所を入力(住所、郵便番号、観光情報リンク)
 ●「検索」で検索結果を表示
- 5. バス乗換えを調べる**
 出発地、目的地、出発(到着)時刻を設定する事で目的地までの最適なルートを検索します。
- 6. 最寄の観光情報を探す**
 各バス停付近の観光情報(富士の国やまなしネット)にリンク。

パソコンからアクセス

- 1. バスの運行(接近)情報を調べたい**
 パソコンTOP画面
 1. 検索
 2. 時刻表
 ●調べたいバス停名を入力(ひらがな・一部でも可)
 ●表示されたバス停をクリック
- 2. 時刻表を調べたい**
 時刻表を見る
 ●調べたいバス停名を入力(ひらがな・一部でも可)
 ●表示されたバス停をクリック
- 3. 時刻表を調べたい**
 時刻表を見る
 ●調べたいバス停名を入力(ひらがな・一部でも可)
 ●表示されたバス停をクリック
- 4. バスの位置を探す**
 現在地から検索
 ●検索する場所を入力(住所、郵便番号、観光情報リンク)
 ●「検索」で検索結果を表示
- 5. バス乗換えを調べる**
 出発地、目的地、出発(到着)時刻を設定する事で目的地までの最適なルートを検索します。
- 6. 最寄の観光情報を探す**
 各バス停付近の観光情報(富士の国やまなしネット)にリンク。

便利な使い方!

- ◆マイリスト機能**
 一度調べた画面をマイリスト登録しておくことで、次からはTOP画面より簡単表示できます。
- ◆各バス停付近の観光地情報とリンク**
 各バス停付近の観光地情報とリンク
- ◆アクセス**
 携帯電話から: <http://busmaps.jp/yamanashi/>
 パソコンから: <http://busmaps.jp/yamanashi/>

このシステムの基本部分は、経路者の「戦略的情報通信研究開発推進制度」の助成を受け、山梨大学農水研究室にて開発され、さらに日本バス協会の「バス輸送改善推進に関する活性化事業補助金」、山梨県の「山梨県バスロケーションシステム整備事業費補助金」をいただき完成しました。

社団法人 **山梨県バス協会**
 〒406-0034 山梨県笛吹市石和鹿柏1000-7 (山梨県自動車総合会館内)
 TEL (055)262-1201 FAX (055)262-1202
 バス協会 HP <http://www.bus-yamanashi.jp/>

※この画面表示は平成22年9月15日現在のものです。表示内容は日々更新しておりますので実際の画面とは異なる場合があります。

甲府市における都市型デマンドバス交通の実証実験

甲府市中心部から北側数キロに位置する相川地区

昭和40年代の住宅ブームで都市化が進んだものの、現在では高齢化が進み、商店も退店し、買い物難民・医療機関へのアクセス不安が日常化している。

地元連合自治会から山梨交通に対し、強いバス路線の開設要望があったが当該地区は道路狭隘でバス運行に適さない。

このような状況から、相川地区における公共交通のあり方を協議すべく、甲府市は地域公共交通会議を立ち上げた。この協議会に両宮氏自信も委員として参画することとなった。

同協議会において、中山間地で行われていたデマンドシステムを応用することとなり、同氏が地方都市で同システムを実験する東京大学との調整を行い、都市型デマンドバス交通の実証実験の実現に貢献した。



甲府市HPから

甲府市における都市型デマンドバス交通の実証実験概要(甲府市HPから)

■実験概要

デマンド交通システムは、予め登録した利用者が通信手段(電話、インターネット)により予約手続きを行い、希望する乗降場所から目的地(指定した場所に限る)まで、迂回しながら乗合方式で送迎する交通手段です。

今回の実験では、デマンド交通が既存の公共交通と連携を図りながら、交通弱者や公共交通の利用が不便な地域住民などに対して、有効な移動手段として活用が可能か運用面も含めて検証します。

また、山梨大学との共同研究で、デマンド交通による温室効果ガスなどの環境面への影響についてもあわせて検証を行います。

■運行期間

平成22年10月13日(水)～平成22年12月9日(木) ※土・日・祝日は運休。

■運行時間及び電話による予約時間

午前7時から正午まで、午後2時～午後7時まで ※土・日・祝日は予約不可。

■乗降場所等

実験エリア内に31箇所の乗降場所を設け、目的地(甲府駅北口、国立甲府病院、朝日町通り商店街)へのデマンド運行。

■実証実験利用者状況(中間)

運行期間 平成22年10月13日～平成22年11月10日

運行日数 20日

事前登録者数 1,107人(平成22年11月10日現在)

延べ利用者数 429人

一日平均利用者数 21人

■目的地別利用状況

甲府駅北口 71%

国立甲府病院 17%

朝日町通り商店街 12%